

**〔長久手町業務評価票：平成20年度業務〕**

担当課・係名	文化の家 事業係【 問合せ・質問等の先（電話 0561-61-3411）】
第4次総合計画の 該当項目	4節 3項 文化環境の整備

<b>業務の名称</b>	文化事業業務			
(1) 根拠法令・条例	長久手町文化マスタープラン			
(2) 当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>42.8</u> % (係の総業務量を100%とする) 職員延人数： <u>728</u> 人・日 (臨時雇用者延人数： <u>    </u> 人・日)			
(3) 事業費 (人件費分を除く)	<u>52,124</u> 千円 (平成20年度決算 (細目・細々目の実績から抽出・算定する))			
(4) 補助率 (補助金がある 場合のみ記載)	<u>0.95</u> % (平成20年度実績)			
(5) 業務期間	開始した年度	10年度	終了 (予定) 年度	年度

(6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)

① 業務目的 (達成目標)	芸術、娯楽、伝統文化を通して地域コミュニティや住民の日々の暮らしの中に文化的な潤いや豊かさを生み出すことを目的とする。																																														
② 業務が対象とする住民 (地域、層)	町内外の子どもから高齢者まで幅広い観客層の住民																																														
③ 業務の具体的な実施内容・方法 (平成20年度実績)	長久手町文化マスタープランに基づき、町民、専門家等により組織した企画委員会の企画会議を経て、教養、鑑賞事業、自主創造事業、提携事業、育成事業、交流事業を森のホール・風のホールおよびアトリビング棟の各諸室を使用し、舞台公演、美術展、映画、講座、ガレリアコンサート、トークイベントなどを実施した。																																														
④ 業務の実施結果 (平成20年度実績)	企画会議の内容を検討し、楽団、劇団、作家などの文化芸術団体および芸術家と目的に合致した出演交渉をすることにより、合計 97本の文化事業を7.5名の人員で効率よく行うことができた。全事業に対し、総数 33,493名の観客動員および参加者を得ることができた。																																														
	<p align="center">【業務結果の説明指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">結果の説明指標</th> <th>17年度</th> <th>18年度</th> <th>19年度</th> <th>20年度 実績</th> <th>将来目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>舞台系41事業の業務結果 (観客動員数16,239人)</td> <td>22,639</td> <td>17,639</td> <td>19,290</td> <td>16,239</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>展示系7事業の業務結果 (観覧動員数11,836人)</td> <td>10,849</td> <td>6,107</td> <td>11,326</td> <td>11,836</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>映像系13事業の業務結果 (観客動員数1,645人)</td> <td>1,461</td> <td>2,242</td> <td>1,651</td> <td>1,645</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>アウトリーチ系25事業の業務結果 (参加者数1,214人)</td> <td>1,329</td> <td>2,089</td> <td>3,295</td> <td>1,214</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>講座とその他11事業の業務結果 (参加者614人)</td> <td>853</td> <td>1,661</td> <td>2,293</td> <td>614</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						結果の説明指標		17年度	18年度	19年度	20年度 実績	将来目標	1	舞台系41事業の業務結果 (観客動員数16,239人)	22,639	17,639	19,290	16,239		2	展示系7事業の業務結果 (観覧動員数11,836人)	10,849	6,107	11,326	11,836		3	映像系13事業の業務結果 (観客動員数1,645人)	1,461	2,242	1,651	1,645		4	アウトリーチ系25事業の業務結果 (参加者数1,214人)	1,329	2,089	3,295	1,214		5	講座とその他11事業の業務結果 (参加者614人)	853	1,661	2,293	614
結果の説明指標		17年度	18年度	19年度	20年度 実績	将来目標																																									
1	舞台系41事業の業務結果 (観客動員数16,239人)	22,639	17,639	19,290	16,239																																										
2	展示系7事業の業務結果 (観覧動員数11,836人)	10,849	6,107	11,326	11,836																																										
3	映像系13事業の業務結果 (観客動員数1,645人)	1,461	2,242	1,651	1,645																																										
4	アウトリーチ系25事業の業務結果 (参加者数1,214人)	1,329	2,089	3,295	1,214																																										
5	講座とその他11事業の業務結果 (参加者614人)	853	1,661	2,293	614																																										

(7) 遂行上の問題点、取組課題 (簡条書きで簡潔に記載)

業務時間 (開館時間9:00~22:00、月曜休館) の制限があり、事業に対し弾力的な対応ができないことがある。職員異動により、培ったスキルが失われてしまう。

(8) 改善実績 (過去4年間の実績)	
特になし	

(9) 業務の評価 (自己診断)		
評価基準	評価の視点	三段階評価 (2~0点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	2点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	1点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	1点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	1点
⑤総合計画との整合	総合計画(基本計画)の方針に対応しているか。	1点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	2点
2点: 成果あり、適切だった    1点: ある程度適切だった    0点: 適切でなかった、遅れている		平均 1.5点

(10) 総合評価 (課の見解)	
①今後の方向 (該当番号に○印)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 前年度と同じく、そのまま継続する。</li> <li>2. 見直して継続(業務の拡大)</li> <li>3. 見直して継続(業務の縮小)</li> <li>4. 見直して継続(方法の改善)</li> <li>5. 見直して継続(他業務と統合)</li> <li>6. 廃止する。</li> <li>7. 休止する。</li> </ul>
②評価理由	類似団体に比べて、突出した事業内容である。

(11) 今後の目標・改善方針 (具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること)	
①改善目標	職員のスキルアップを促し、業務の対応力を高める。
②改善時期	平成22年度
③改善方法	先進都市の事業内容を検証し文化事業業務に活かす。